

D & D 2006 の講演論文の書き方

D&D2006 では、論文集は CD-ROM 論文集とアブストラクト集（印刷物）の二種類を発行いたします。

（アブストラクト集は CD-ROM 論文集の 1 ページ目を印刷したものを集めて製本します。）

（1）書き方

1 ページ目：論文題目，著者名(所属)，英文アブストラクト（80-100 words），Keyword などは製本印刷版講演論文集の書式と同じですが，その後には**内容の充実した和文アブストラクトを付けます**。図表を掲載することもできますが，**1 ページで完結させて下さい**。特に章立てする必要はありませんが，章を設ける場合は A1，A2 などとして下さい。図番，表番は Fig.A1，Fig.A2，Table A1，Table A2 などとして下さい。具体例は**別紙 1 参照**。（全てを英文で書かれる方は英文アブストラクト（80-100 words）は不要です。）

2 ページ目以降から本文を書き始め，緒論，解析，実験，結論，文献等を続けて下さい。の図や表と同じものを用いてもかまいませんが，本文内の図番，表番は従来通り Fig.1，Fig.2，Table 1，Table 2 等として下さい。**別紙 2 参照**。

（2）講演論文の長さ

とを合わせた論文が CD-ROM 論文集に掲載されます。その長さは **A4 用紙 6 ページ以内**，かつ，PDF 変換したときのファイルの大きさが **1.4MB(メガバイト)以下**として下さい。ただし，動画はご遠慮下さい。

（3）PDF 化する際に使用できるフォントについて

日本語フォントは以下のフォントを使用して下さい。

MS 明朝，MS ゴシック（Windows）

細明朝，中ゴシック（Macintosh）

リュウミンライト・中ゴシック BBB（Unix）

欧文フォントについては，Courier, Helvetica, Times, Time New Roman, Symbol については標準でサポートしているので，問題なく使用できます。

ただし，上記以外のフォントを使用した場合は，PDF 化が困難になる場合があり，ご希望通りの表示がされない場合がありますのでご注意下さい。

（4）式について

式の前を 2 文字空けて次のように記載して下さい。アブストラクトの式番号には”A”を付けて下さい。

$$m + c + kx = f \dots\dots\dots (A1)$$

別紙 1 に 1 ページ目（アブストラクト），別紙 2 に 2 ページ以降の書式を示します。

和文表題：ゴシック体 12pt

D&D2006 の講演論文の作成要領

Sample Form of D&D2006 Paper

英文表題：Times 12pt

和文著者名，所属：
明朝体 10pt

正 機械 太郎（機械大） 准 機械 次郎（機械重工）
学 機械 三郎（機械大）

Taro KIKAI, Kikai University, Shinanomachi35, Shinjuku-ku, Tokyo
Jiro KIKAI, Kikai Heavy Industries Ltd.
Saburo KIKAI, Kikai University

英文著者名，所属，
連絡先：Times 10pt

英文アブストラクト，
キーワード：
Times 9pt

This sheet is an example of a paper which has been prepared according to the following instructions. Use a white A4-size paper(210x297mm). Marginal spaces are top area:20mm, bottom area: 20mm, left area: 15mm, right area: 15mm and space between the columns: 10mm. No special typing sheets will be provided. Title should be typed in 12 points. Text should be typed in 9 points. Photographs, illustrations and tables must have captions. For the best reproduction of line drawings, paste the original drawings at appropriate spaces. An English abstract consists of 80 – 100 words.

Key Words: Dynamics, Design, Vibration, Control, Measurement

和(英)文アブストラク A 1 . はじめに

ここから和文あるいは英文のアブストラクトをこのページに収まるように書いて下さい。特に章に分ける必要はありませんが，分ける場合は A1, A2 などとして下さい。

この文書は，D&D2004 における講演論文の書き方について記述したものです。なおこの文書は講演論文の書式に従い作成されています。

A 2 . 用紙サイズ

- ・用紙サイズ：A4
- ・左右の余白：15mm，上下：20mm

A 3 . Extended abstract(1 ページ目)の書式

A 3 ・ 1 表題，著者名など 以下の順に記載して下さい。

- ・表題（和文，英文，12 ポイント以上の文字を使用）
- ・会員資格，著者名，所属（和文，所属は括弧で囲んで略記，講演者には 印）
- ・著者名，所属，所在地（英文）
- ・英文アブストラクト（80 から 100words 程度）
- ・英文キーワード（5 語句程度）

A 3 ・ 2 和文アブストラクト

- ・2 段組，中央に 10mm の空白
- ・文字サイズ，9 ポイント
- ・片段 26 文字，40 行以内

A 3 ・ 3 図，表，写真

- ・図表のタイトルならびに説明は英文で記載
- ・できるだけ鮮明なものを使用
- ・図表中の文字は 7 ポイント以上を使用

A 3 ・ 4 式 式の前を 2 文字空け，以下のように記載します。アブストラクトの式番号には “ A ” を付けて下さい。

$m\ddot{x} + c\dot{x} + kx = f$ (A1)

1ページ目 (Extended abstract)

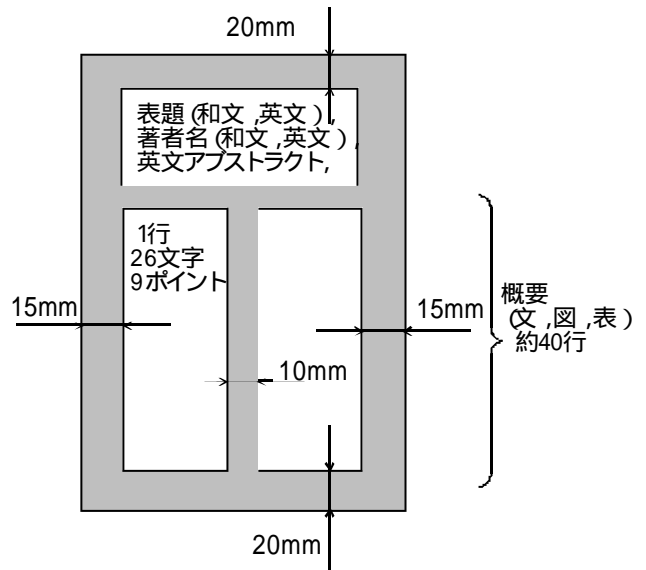


Fig. A1 Extended abstract

別紙 2

1.はじめに

ここからは従来の講演論文集の本文と同じです．この書式は文献⁽¹⁾に詳細が書かれていますので，ご参照下さい．

2.用紙サイズとページ数

- ・用紙サイズ：A 4
- ・左右の余白：15mm，上下：20mm
- ・6 ページ以内，ただし PDF ファイルの大きさは，1.4MB(メガバイト)以内

3.2 ページ目以降の書式など

図 1 に示すように，ほぼ 1 ページ目と同じです．

3.1 本文

- ・2 段組，中央に 10mm の空白
- ・文字サイズ，9 ポイント
- ・片段 26 文字，60 行以内

3.2 図番，表番，式番号 従来通りです．

4.文 献

本文中の引用箇所には，文章の右肩に小括弧を付した番号を記入し，原著文献を末尾にまとめて明記して下さい．

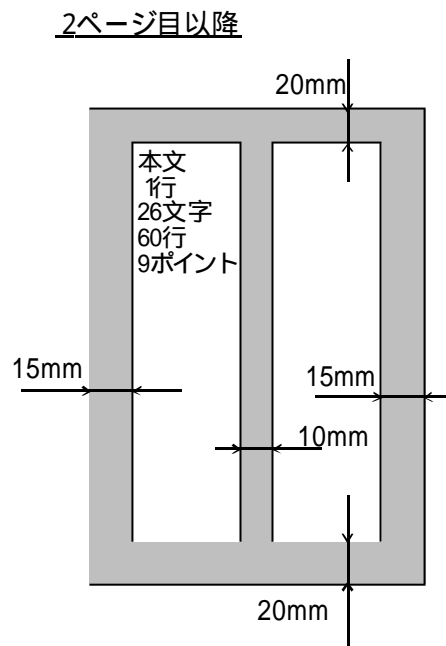


Fig. 1 Layout of paper

文 献

- (1) 日本機械学会誌，5月号，Vol. 102, No. 966, (1999), 103 - 105，(告 207 - 209)
- (2) 機械太郎，機械次郎，振動に関する研究，機論，100 - 200，C(2000)，82 - 88
- (3) J. P. Den Hartog, Mechanical Vibrations, Dover, (1985)
- (4) 機械三郎，PDF について，機講論，No.00-20(1), Vol. A，(2000), 34 - 35